



野球部

■ 1901年(明治34年)公認

部員数

170名



部長
日野愛郎
政治経済学術院
教授



監督
小宮山 悟



主将
小澤周平
スポーツ科学部
高崎健康福祉大高崎

2025年の野球部は、東京六大学野球連盟の春季リーグ戦において3連覇を果たしました。一方で4連覇を目指した秋季リーグ戦では2位という結果に終わりました。昨年の連覇を受けて、4年生が中心となり試行錯誤を繰り返しながら新たにチームを作る過程は、部員にとってかけがえのない学びの場であったと思います。その取り組みを受けて、3年生以下の下級生は来年に繋がるチームを作ることを期待しています。来年、野球部は創部125周年を迎えます。新たな125年の扉を開くべく、2月から3月にかけて第14回日米国連征を企画する等準備を進めた1年でもありました。日頃ご支援いただいている大学関係者、ならびに校友の皆様にお礼申し上げます。

お陰様で、春季リーグ戦は、昨秋に続き、明治大学との優勝決定戦を制し、4度目の3連覇(4連覇が1度ある為、結果として3回目の3連覇)を達成する事ができました。「怒濤の5連覇」で、天皇杯を死守する事が出来ました。福門の皆様のご声援の賜物です。感謝申し上げます。一方、全日本大学選手権では、東京六大学野球連盟の代表として、初のコールド負けでの敗退と、汚点を残す結果となり、秋、4連覇達成で、汚名返上と、夏場に鍛錬を積むものの、残念ながら4連覇を逃す結果となってしまいました…。来春、天皇杯奪還し、「早稲田の栄光」を神宮球場で大合唱したいと思います。ご支援、ご声援賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

この4年間、安部球場での日々の鍛錬とリーグ戦での経験を通じ、私たちは多くの学びを得ることができました。今年度は東京六大学野球連盟結成100周年という節目の年であり、春季リーグでは優勝し3連覇を達成することができました。一方で、秋季リーグでは優勝を逃す悔しい結果となりました。しかし、最終戦である早慶戦を2連覇で終えることができ、本年度のチームの完成形を皆様にお見せできたと感じております。これまでの歩みを支えてくださった応援部の皆様をはじめ、多くの方々のご支援とご声援に深く感謝申し上げます。



主務
北嶋晴輝
スポーツ科学部
早大佐賀

平素より早稲田大学野球部へのご支援、ご声援を賜り、誠にありがとうございます。本年も皆様にご支えられ、部員一同全力で戦い抜くことができました。春季リーグ戦では優勝し、3連覇を達成することができました。

一方、秋季リーグ戦では優勝に届かず、4連覇を果たすことはできませんでしたが、その挑戦の中で多くのご声援・ご支援をいただき、早稲田の強い絆を実感いたしました。

来年は天皇杯を取り戻し、皆様と喜びを分かち合えるよう、より一層精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



本年度試合戦績

◇2025年東京六大学野球春季リーグ戦 (4月12日～6月4日)

- 東京大学戦
 - ▷早大 1-4 早大
 - ▷早大 13-3 早大
- 法政大学戦
 - ▷早大 11-0 法大
 - ▷法大 7-5 早大
- 立教大学戦
 - ▷早大 4-5 立大
 - ▷立大 0-3 早大
 - ▷早大 10-11 立大
- 明治大学戦
 - ▷早大 0-3 明大

- ▷明大 0-1 早大
- ▷早大 8-6 明大
- 慶應義塾大学戦
 - ▷早大 11-2 慶大
 - ▷慶大 5-6 早大
- 優勝決定戦
 - ▷明大 5-6 早大

◇第74回全日本大学野球選手権大会 (6月10日～13日)

- ▷早大 12-2 東亜大(6回コールド)
- ▷早大 3-12 東海大(8回コールド)

◇2025年東京六大学野球秋季リーグ戦 (9月13日～11月2日)

- 東京大学戦
 - ▷東大 3-6 早大

- ▷早大 3-1 東大
- 立教大学戦
 - ▷早大 0-1 立大
 - ▷立大 4-8 早大
 - ▷早大 3-2 立大
- 法政大学戦
 - ▷法大 5-4 早大
 - ▷早大 15-10 法大

- ▷法大 8-6 早大
- 明治大学戦
 - ▷明大 9-2 早大
 - ▷早大 0-1 明大
- 慶應義塾大学戦
 - ▷早大 5-3 慶大
 - ▷慶大 0-3 早大

